

筑西産イチゴ原料に

飲むヨーグルト発売

駅ス
道グ
ランテ
ラス

筑西市産のイチゴ「いばらキッス」を原料にした「いちご味 のむヨーグルト」が、道の駅グランテラス筑西（同市川澄）で販売開始された。熟成された飲むヨーグルトと組み合わせ、い

ばらキッスの糖度と酸味をバランスよく味わせるよう仕上げられた。同道の駅だけで販売されるオリジナル商品で、地元振興の願いが込められている。

製造元は、ミルク工房もりや（守谷市）。同道の駅に隣接する農場「ストロベリーランド筑西」で収穫されたイチゴを使用。ボトル



道の駅グランテラス筑西のオリジナル商品「いちご味のむヨーグルト」をアピールする鈴木一志駅長（中央）ら＝筑西市川澄

のパッケージは、母子島遊水地の景勝「ダイヤモンド筑波」がイメージされ、朝日でなくイチゴが筑波山頂から顔をのぞかせるデザインとなっている。

開発構想は5月ごろスタートしたという。ミルク工房もりや事業推進部の木村義雄部長（61）は「守谷市産の生乳を使った濃厚で甘みのあるヨーグルトと、酸味のあるいばらキッスをつまみくマッチさせた」とアピールした。鈴木一志駅長（59）は「12月1日からイチゴ狩りも始まる」とし「期待の商品。販売を通して道の駅のイメージアップにもつながりたい」と期待を込めた。ボトルサイズは2種類あり、価格は150ミリが170円（税込み）、500ミリが480円（同）。問い合わせは、同道の駅 ☎ 0296(45)50215。

（富岡良一）